

上ノ書ヲ讀ムルニ似タリ故ニ宗ニ依ルニ後トシテ上ノ書ノ通

中個

土人ノ九ノ五也

三ノ汁

書地友

全行

北原

乙第ノ八拾三号

此内其方傷者法考ノ依ニテ其方ノ人ノ上ノ書

此内其方傷者法考ノ依ニテ其方ノ人ノ上ノ書

昔仕在四兵ノ内方傷者石川誠若外其方全快帰部ノ書

是後平也其方誠若石川誠若外其方全快帰部ノ書

今心前ノ心七也又其方誠若石川誠若外其方全快帰部ノ書

開本

Blank lined area for writing on the right page.

百善為國體之中心

土人存心

書此友

全行理

此解得

乙竹中八拾三号

此國兵及傷者法者... 依... 上中...

此國兵及傷者法者... 依... 上中...

此國兵及傷者法者... 依... 上中...

此國兵及傷者法者... 依... 上中...

此國兵及傷者法者... 依... 上中...

付

漢書地理志卷之九十五
西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

西域傳第七十五上

東京

書記室

木悦

西村大進記室

唐虞殷周各異其義，義者用之以布政教，制者
別於古，故古者之義，上由天子，下及士大夫，一
心同軌，一其義也。記室上之，各異其義，然以
計於本，故各異也。

十二月十九日

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

長門守忠信

長門守忠信

のりりりりり

長門守忠信

長門守忠信

金貞三十八

...

東京

書記官

札幌

西村大善記官

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

十二月十九日